

おれんじニュース

No319

2016年10月号

雨ヶ池のワレモコウ(8/21)

CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
北アルプス裏道に行く	4
県連沢登り	7
市房山、天包山	8
星生・久住山	10
大船山&すすき野コンサート	11
おれんじカレンダー	12

2016年	10月	11月	時間	場所
専門部会	11日(火)	8日(火)	13:30~15:30	西諫早
全体集会	26日(水)	23日(水)	19:00~21:00	公民館

10月

月例山行案内

部	自然保護部	ひまわり山行部	技術研修部	山行部
月/日(曜)	10/8(土)	10/21(金)	10/23(日)24(月)	10/29(土)
山名(行事)	国見山/八天岳	富川溪谷、高峰展望台	烏ヶ山、象山、擬宝珠山	福知山・鷹取山
地 図	蔵宿(佐世保)	多良岳(諫早)	伯耆大山(鳥取県)	徳力、金田(福岡県)
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	西諫早駅 8:00 諫早駅裏 8:10	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難 易 度	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 2	体力 1 / 技術 1
帰着時間	17:00	15:30	21:00	19:00
歩行時間	4.0h	3.0h	23日 1.0h / 24日 4.0h	5.0h
交通手段	マイクロバス	マイカー	マイクロバス	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	日帰り	休暇村、奥大山	日帰り
温 泉	有り	無し	無し	有り
参加費	3,500	1,000	20,000	5,000
申込期限	10/1	10/18	10/15	10/22
集 約	山口	林 孝子	山下ちず子	田村
備 考	佐世保と伊万里の県境	溪谷の自然にひたる	錦繡の紅葉彩る山	山頂からの眺めは圧巻

11月

部	自然保護部	ひまわり山行部技	山行部	技術研修部
月/日(曜)	11/1(火)	11/18(金)	11/20(日)	11/27(日)
山名(行事)	土器山(八天山)	普賢岳/妙見岳	中摩殿畑山	雷山
地 図	神崎脊振(佐賀県)	雲仙・島原	耶馬溪西部(大分中津)	雷山(佐賀県)
集合場所	諫早駅裏 7:20 西諫早駅 7:30	諫早駅、西諫早駅共に 8:00 発で池の原Pに集合	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	西諫早駅 7:10
難 易 度	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1
帰着時間	17:00	17:00	18:30	18:00
歩行時間	3.0h	4.0h	4.0h	3.5h
交通手段	マイクロバス	マイカー	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	有り	有り	有り	有り
参加費	3,500	1,500	5,000	3,000
申込期限	10/25	11/11	11/12	11/21
集 約	山口	林孝子	田村	山下ちず子
備 考	数対の巨石が見もの	紅葉と温泉で若返ろう	紅葉をめぐる	千如寺の大楓を見る

おっけい!

大寶 千博さん

初心者です。TV を観て登山の魅力に惹かれました。

ジョギングをしているので体力には多少自信がありますが、登山に使う体力は全く別物だと思います。

県内の山に多く挑戦したいと思っています。また、コンパスの使い方や読図なども学びたいと思っています。



コンパニオンレスキュー

コンパニオンレスキューの重要性については、9月号で述べましたが、それぞれのレベルに応じて練習しますのでぜひ参加して下さい。

今後の予定は9/24、10/22、11/26 各土曜日 9:30 西諫早駅集合です。弁当必要。

水曜登山

山岳登山に耐えうる持久力ある体力や、コンパスの使い方と読図などルートファインディングやレスキューの応用技術を身に付けるために有効です。都合の付く方は参加しましょう。毎水曜日 8:00 西諫早駅集合です。弁当必要。

事務局報告

9/3(土) ちょっと遅い納涼会

山の会らしく山小屋でと考えていたが、例年と同じ飲食店でとなりました。それでも、少しだけ山の匂いのする「いこいの村長崎」で行ったが、アルコールが入ればおしゃべりとアルコールの匂いに満たされました。



スズメバチ対策を!

秋の登山ではスズメバチ対策が必要です。巣には近づかないこと、ベ物やジュースの甘い匂いや香水などもNGです。服装は白色系にする。もし刺された場合、刺された部分を指でつまみ毒を体外に押し出す(口では吸いださない)。その後、流水で洗いながら冷やして下さい。

山行には写真のスプレーを必ず持参して下さい。(事務局長保管)



第15回登山フェスタ in 諫早青少年自然の家

内容: 11/12(土) 14:00~ 石田先生による山筋ゴーゴー体操の研修会

13(日) 9:00~ 交流山行

主催: 長崎県勤労者山岳連盟 組織部・女性委員会

参加費: 宿泊 3,000円 日帰り 300円



本の紹介 黒部の山賊(伊藤正一氏著)

北アルプスの最奥部・黒部原流域のフロンティアとして、長く山小屋(三俣山荘、雲ノ平山荘、水晶小屋、湯俣山荘)の経営に携わってきた伊藤正一氏と、遠山富士弥、遠山林平、鬼窪善一郎、倉繁勝太郎各氏ら「山賊」と称された仲間たちによる、北アルプス登山黎明期、驚天動地の昔話。埋蔵金伝説、山のバケモノ、山岳遭難、山小屋暮らしのあれこれなどを紹介。(伊藤正一氏と交流のあった川原さんからの思い出話もいずれ掲載される事になります、ご期待下さい)。

北アルプス



針ノ木岳から立山連峰・劔岳・黒部湖

7月19日(火)～29日(金) 山小屋8泊、車中2泊

(行程) 新宿駅西口(19日 23:15 発)＝バス泊＝扇沢(20日 5:35 着)～針ノ木岳
～針ノ木小屋(20日泊)～蓮華岳～北葛岳～七倉岳～船窪小屋(21日泊)～船窪第2P
～不動岳～南沢岳～烏帽子岳～烏帽子小屋(22日泊)～野口五郎岳～水晶小屋(23日泊)
～水晶岳～赤牛岳～読売新道～平ノ小屋(24日泊)～黒部ダム＝アルパソルト＝室堂
～劔沢小屋(25日泊)～劔沢雪渓～仙人池ヒュッテ(26日泊)～仙人温泉小屋～雲切新道
～阿曾原温泉小屋(27日泊)～水平歩道～樗平(28日 9:35 下山)＝トロッコ電車＝宇奈月
＝地鉄・JR＝富山＝高速バス＝名古屋(28日 19:40 発)＝夜行高速バス＝諫早IC(29日 6:35 着)

(登山概要) 一度は登ってみたいと思っていた針ノ木岳、烏帽子岳、赤牛岳、読売新道、水平歩道を結んでみたら、このような長丁場となってしまった。ガイドブックで調べると怖そうなルートもありそうだ。

19日 22:30 新宿駅西口のバス乗り場には登山者らしき人は小生も含め3人。結局大型バスには乗客7人、ゆつたりと扇沢迄行けた。

早朝の扇沢に人はまばら。登山届けを済ませ、冷氣漂う針ノ木雪渓を登り、針ノ木小屋にザックを置き、軽装で針ノ木岳登る。そこは、眼前に立山・劔岳、眼下に黒部湖の大展望(写真)。

蓮華岳からの大下りの先は烏帽子小屋まで、2,200mから2,600mの数座の山並にならう、樹林帯の中の急なアップダウンの繰返しで、展望はピークに立たないと得られない。

裏道を行く



前烏帽子から烏帽子岳・南沢岳・不動岳

崩壊箇所、クサリ、ロープ、ハシゴ場も多数で緊張する。登山者もまばらなこの間にあって、船窪小屋は心なごむ。皆さんも機会があれば訪れてみてください、感動しますよ。

烏帽子小屋からは朝焼けに染まる赤牛岳が目の前にねころぶ。前日展望が得られなかった烏帽子岳を見ようと、一旦前烏帽子に戻る。今までたどった烏帽子岳・南沢岳・不動岳(写真)の展望に大満足。

烏帽子小屋からはアルプスらしい砂礫とゴーロの稜線歩きとなる。

左手には燕岳、大天井岳、常念、槍、穂高連峰が、右手には赤牛岳、その奥に薬師岳、そして目の前に野口五郎岳・水晶岳が望まる。朝から食欲減退ぞみ。……の体に、水晶小屋の夕食はカレー。グットタイミング、ファイト！！

翌朝はこの登山で最高の冷え込み。水晶小屋から赤牛岳の稜線は360度の大展望。言葉はいらない写真を見て下さい。



水晶小屋から槍ヶ岳・穂高・鷲羽岳



水晶小屋から鷲羽岳・ワモ岳・
双六岳 右奥笠ヶ岳



水晶岳から赤牛岳奥に立山連峰



温泉沢の頭から水晶岳、
水晶の左に小さく槍ヶ岳

水晶岳を経て、近くに見えて遠い赤牛岳から読売新道を一気に下り、奥黒部ヒュッテを通過して平の小屋へ。渡船場までの湖畔ルートは高度感があり怖いこと。天候が下り坂なので当初予定の五色ヶ原経由劔沢小屋をやめて黒部ダムを経て(ちょっとズルして?)アルペンルートで室堂に。雷鳥坂から降りだした雨の中劔沢小屋に着く。

劔沢雪渓は今年は雪が極端に少ないので「危険を感じたら引き返せ」と小屋で脅されながらも、雨の中クラックを避け真砂沢に下る。仙人新道を登り返し無事仙人池ヒュッテへ。

冷えた体に予想外の風呂は有難かった。翌日、仙人温泉、雲切新道を仙人ダムへと急登を下り阿曾原温泉に着く。

温泉は源泉かけ流しで極楽極楽。最終日は、タイトスケジュールなので小屋を5時発。待望の水平歩道を歩く。計画時「歩道は狭く、断崖上を行くので歩行注意」にビビっていたが、ここまでの日々で恐怖心も和らぎ、4時間半なんとか集中し、無事擲平に下山した。(乾記)



劔沢雪渓と劔岳八ッ峰



阿曾原温泉



水平歩道 大太鼓の断崖

8/21 県連 沢登り



参加者 川原、松岡、工藤、山下(ち)、田中(静)、吉川(6名)・・・全体19名

行程 8:00 西諫早公民館 P～9:20 萱瀬ダム運動公園 P～八丁谷～10:00 ウナギレ沢
～第一の滝～第二の滝・昼食～大滝～登山道下山～15:20 萱瀬ダム運動公園 P 反
省会～16:20 西諫早公民館 P

感想

残暑厳しい8月21日県連の沢登りに参加した。一度の訓練もしていないのに無謀な挑戦である。装備などは借り物で何とか準備をし、リーダーの注意事項を受けていざウナギレ沢へ入った。今年は雨が少なかったので川の水位が低く、膝上まで濡れることはなく、当初多少の緊張もあったが、初体験の沢登りを楽しんだ。

沢登り中は、涼しげな水音と時折さえずる小鳥の鳴き声に心を癒された。下界とは別世界であり、木々に覆われた溪流にいと真夏と思えないような清涼感があった。

さて問題は滝登りである。第一の滝、第二の滝は高さ約5mほど、先行するベテランの手、足さばきをお手本にし、さらにロープで補助を受けながら必死で登った。

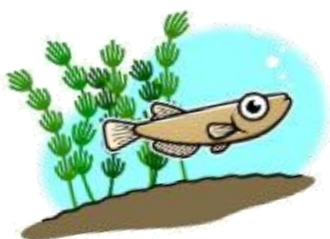
しかし、大滝になると高さ10mほどあり、恐怖感でどのようにして登ったかは覚えていなかった。登頂後、足がかすかに震えていたがその反面、達成感をあじわった。

三日ほど筋肉痛だったが、また挑戦してみたい。

(工藤)



キバレー



コワ



8/27(土)~28(日) 市房山、天包山



市房山の大杉

参加者 川原、福岡、平山、工藤、松岡、乾、中里、吉川、田村、下釜、田中、山下、佐原、中野

行程

8/27 諫早駅 R6:20~西諫早駅 6:30~金立 SA7:20~人吉 IC10:00~市房キャンプ場~市房神社駐車場 11:15・登山口~5 合目(昼食)12:00~頂上 14:45~心見の橋 14:48~下山開始~駐車場着 17:30~温泉~民宿着 19:00

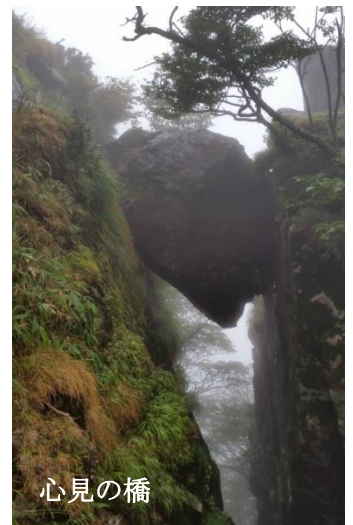
8/28 民宿出発 8:30~吊り橋~西米良役場~川の駅~GS~天包山登山口 11:45~天包山頂上(昼食)~下山~カリコボーズの家~人吉 IC~諫早着 19:30

登山概要

天候を考え当初予定の 27 日天包山、翌日市房山を入れ替え。4 合目の市房神社で頂上組と散策組に分かれ登山。4 合目から 7 合目までは滑りやすいえぐれた山道に木の根も張り上り下りともに時間をとる。蒸し暑さも加わり 8 合目でリタイ

ア 2 名。頂上到着後小雨となる。希望者のみ「心見の橋」まで行くも岩はぬれて渡る事は断念。下りは滑らぬよう注意を払いながら下山。

2 日目、白水川に架かる 2 つの吊り橋(白龍妃橋、白龍王橋)を観光。落差 120m の滝に架かる 160m の吊り橋はスリル満点。天包山は長い林道を走った先に登山口がある奥深い山。山道はよく整備されていて往復 1 時間弱。山道の状態、宿でのくつろぎなどを考慮して予定変更は正解。



心見の橋



市房山 6 合目

一言感想

*市房山は思った通りの山で久しぶりに登山を充実できた。

*市房山は急登で足場は悪く死ぬほどつらく何度リタイアしようかと思いました。行きはハアハア、帰りはヒーヒーでした。民宿では大変ご馳走がありお腹は満腹。

*市房山はとても厳しい山でした。コーチのおかげで頂上にたてました。ありがとうございました。



8 合目



頂上、小雨でした



市房山にキャンパーイ



西南戦争の碑



西南戦争の弾丸の跡

*例によって天候が悪く(2日目)予定を逆転させました。そしたら、次の日は晴れて！でも心ゆくまで酒を楽しみ、これも良しかなとおもった。マグカップもステキでうれしかった。

*以前から希望していた市房山に登れてうれしかった。でも段差が大きく、ただただ上りできつかった。心身の橋(チョークストーン)はたとえ晴れていてもバランスを崩せばまっさかさま。岩を渡るのは無理！

*市房山さすが標高 1,720m だけあってなかなかのぼりがいがありました。民宿の食事大変おいしくて酒量も上がり、就寝後鬼のようないびきで同室者を廊下で寝させる羽目になり猛省

*民宿「桜」の料理はすばらしい！市房山のゴロゴロ山道にはきつくて8合目でリタイヤしたのでアケボノツツジの頃にリベンジするため又泊まるぞ！

*2日目の吊り橋と天包山は秋に来れば良いかなと思いました。民宿も良かったです

*湯山温泉民宿村は水豊かな所でした。道の両側にゴーゴーと音を立ててながられています。



白龍妃橋の上で「ヤッホー」



*市房山軽く考えていましたが、手強い山でした。吊り橋は山より恐怖でした。でも素晴らしい景観でした。民宿最高！天包山、明治の人は元気だね。

*吊り橋を渡りきったところで道迷いしてもう一回白龍妃を渡るはめになった。心細さと高さスリル満点。吊り橋を5回もわたってしまった。

*天包山は楽しく登れて好きな山で何度も登りたいね。

*市房山では「金メダル」は手にできませんでしたが天包山は優しく広々として、登りはきつかったが、帰りは元気に下山できてうれしかった。民宿「桜」の方々のもてなしが最高で、もう少し近かったら、また行きたいな。お世話になりました。

写真の提供は乾さん、工藤さん、山下ちず子さんです。

9月11日 久住山・星生山



星生山



久住山

参加者 川原、松岡、林か、山下ち、中野、田中、鎗水、福岡、佐原、工藤、大久保、中須賀、山下ふ、下釜、大寶

行程 西諫早6:30～諫早IC～大村木場バス停～金立SA～九重IC～長者原～牧ノ戸登山口
9:30/9:40～星生山 12:00(昼食)～星生崎～久住分かれ～久住山山頂～避難小屋～
牧ノ戸登山 16:00～温泉花山酔 17:00～九重IC～諫早着 20:20

登山概要

九重で出会った花いくつか覚えてますか？

2班は星生山がゴール。1班は久住ルートから星生への入口を間違えて行き過ぎたが予定より30分早く星生山山頂着。1班はそこから久住に向かった。星生崎までの尾根道は岩場歩きだったが慎重に進みながら展望を楽しんだ。避難小屋から久住への登りのゴロタ石の道は疲れた足には堪えた。天候は少し雲が出たが雨にはならなかった。下りは内回りでショートカット出来、4時前に牧ノ戸登山口に到着。

一言感想

*初の久住山。長い道のりだったが、素晴らしい景観に心洗われた。

*佐原さん1,700m超に良く登りましたね。10年ぶりの久住に私も登らせてもらいました。

*星生崎までの岩場は予想以上の難路で、これはアルプス登山の試験として使いたい。

*初めての星生、久住楽しい1日でした。さすが山行部の計画、技術部にパクられたのは残念。

*星生山には10年振りに登った。前はもっと険しい岩場を降りた記憶あり。

*想像以上でした。途中で諦めようかなと思いましたが最後まで頑張れて嬉しかったです。

*少しづつ九重の山々が繋がってきつつあります。四季折々に又来たいです。

*九重連山に来て初めての好天！素晴らしい360度の展望を満喫しました。

*天気良く最高の登山でした。ゆっくり班で疲れが心地よかったです。

*星生というロマンチックな名前に魅かれていつか登りたかったのが叶いました。

*帰りの道すがら星生・久住を眺め、良く歩いたなと思った。



星生の難所



星生の岩稜を歩く



参加者

鎗水 中野 高森 林和
 (佐賀労山)直塚 赤坂
 江口 天本 深川
 (一般)村山

コース

8/21：長者原 12:58～坊がツル 15:36～法華院温泉小屋 16:00 (コンサート)
 8/22：法華院温泉小屋 7:40～段原 9:35～大船山 10:10～段原 11:10
 ～大戸越～坊がツル 13:25～雨ヶ池～長者原 15:17

登山概要

雨ヶ池経由久々の坊がツル。本当に自然の優しさに抱かれるような場所である。その山小屋の夜の一時、コンサートは過酷な登山に、ホッと安らぎを与えてくれる。翌日は大船山へ。快晴の中、急登をゆっくりと、時々坊がツルや取り巻く九重連山を眺めつつ登る。坊がツルはもうすぐ真っ白のススキヶ原になる。

一言感想

- *ちあきなおみの”黄昏のビギン”クラリネットの音色も色気がありますね。大変楽しかったです。アンコールまで聴けて良かったです。生演奏は久しぶりでした。オカリナの演奏も初めてでした。
- *木道を進むとワレモコウ、マツムシソウなどのもう秋の花々が迎えてくれた。翌日の大船山も青空に映えて素晴らしかった。心地よい疲れでした。



長者原のヒゴダイ



雨ヶ池のマツムシソウ



雨ヶ池



おれんじカレンダー

10月				11月			
1	土		阿蘇鍋の平山荘 30周年記念	1	火	土器山(佐賀 神崎 自然保護部)	
2	日			2	水	水曜登山	
3	月			3	木	文化の日	
4	火			4	金		
5	水	水曜登山		5	土		
6	木			6	日		
7	金			7	月		
8	土	国見山、八天岳(佐世保)	鹿児島労山 (岸岳、黒 髪、土器山)	8	火	専門部会(13:30~15:30)	
9	日			9	水	水曜登山	
10	月			10	木		
11	火	専門部会(13:30~15:30)		11	金		
12	水	水曜登山		12	土	県連登山フェスタ (諫早青少年自然の家)	
13	木			13	日		
14	金			14	月		
15	土			15	火		
16	日			16	水	水曜登山	
17	月			17	木		
18	火			18	金	普賢岳/妙見岳(雲仙 ひまわり)	
19	水	水曜登山		19	土		
20	木			20	日	中摩殿畑山(大分中津 山行部)	
21	金	富川溪谷		21	月		
22	土	県連評議員会、コンパニオンレスキュー		22	火		
23	日	烏ヶ岳、象山、擬宝珠(伯耆大山山系)		23	水	水曜登山 全体集会(19:00~21:00)	
24	月			24	木		
25	火			25	金		
26	水	水曜登山 全体集会(19:00~21:00)		26	土	コンパニオンレスキュー	
27	木			27	日	雷山(佐賀 技研部)	
28	金			28	月		
29	土	福智山、鷹取山(北九州)		29	火		
30	日			30	水	水曜登山	
31	月						

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡 正廣
編集委員	鎗水律夫、中野美津子、林孝子、林和子、 田中静香、高森陽子、兵庫芳隆
発行年月日	2016/09/28
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com